

第22回 東京外環トンネル施工等検討委員会 議事概要

■ 第22回検討委員会：令和2年10月19日

【議題】

- ・東名側本線シールド（南行）工事現場付近において発生した陥没事象について

【議事概要】

- 東名側本線シールド（南行）工事現場付近において発生した陥没事象について報告があり、シールドトンネル直上において地表部において5m×3m程度、地中部において6m×5m程度、深さは約5m程度と推定される地表面陥没が発生したことを確認した。
- 陥没地点を含め、地下に位置するシールドトンネルの坑内状況について報告があり、有害なひび割れや漏水は確認されておらず、健全な状態であることを確認した。
- シールドトンネル自体の損傷は確認されていないことから、陥没のメカニズム究明のために現地調査を速やかに実施し、地盤状況の確認を行うことが必要であることを確認した。
- 今後の調査として、次について実施することを確認した。
 - ・地盤状況確認のためのボーリング調査および音響トモグラフィー調査
 - ・採取した地下水の成分分析
 - ・埋設物の状況確認
 - ・地歴、文献調査の再確認また、周辺道路を含め、地表面付近の空洞探査を早急を実施することを確認した。
- 今後の地表面計測、監視方法について報告があり、24時間の巡回監視や日々の地表面計測を継続するとともに陥没箇所及びその周辺の監視を重点的に行うことを確認した。また、引き続き、周辺住民からの問合せ等に対し適切に対応することを確認した。

以上